

Building on the 'Digital Shift'
Implications for the future in the Library of Congress' new strategic plan

デジタルシフトの次へ

米国議会図書館の新戦略から見えてくるもの



Library of Congress Thomas Jefferson Building

令和6年 **9月24日** (火) 14:00-17:00 (13:30開場)

国立国会図書館 東京本館 新館講堂 日英同時通訳付き

参加費無料・申込みフォームからお申し込みください →

9月18日(水)まで(先着順)

<https://www.ndl.go.jp/jp/event/events/20240924sympo.html>



J・マーク・スウィーニー氏
米国議会図書館
首席副館長



只野雅人氏
一橋大学大学院
法学研究科教授



喜連川優氏
情報・システム研究機構機構長
東京大学特別教授



溝上智恵子氏
国士舘大学特任教授
筑波大学名誉教授



山地康志
国立国会図書館
副館長

国立国会図書館は、2021年から2025年までのビジョンである「国立国会図書館のデジタルシフト」に基づき、多様な情報資源を提供するユニバーサルアクセスの実現と、そのための恒久的なインフラとなる国のデジタル情報基盤の拡充を進めています。

本シンポジウムでは、現ビジョンの最終年を来年迎えるに当たり、デジタルシフトの次のビジョンにおける国立国会図書館の方向性について議論します。

第Ⅰ部では、米国議会図書館首席副館長J・マーク・スウィーニー氏を講師に迎え、昨年10月に発表された同図書館の2024年から2028年までの新戦略「すべての人のための図書館 (A Library for All)」についてご講演いただきます。

第Ⅱ部は、米国議会図書館の新戦略を手がかりに、議会、情報工学、教育・コミュニティに造詣の深い有識者をお迎えし、国立国会図書館が今後果たすべき役割について、多角的な観点からパネルディスカッションを行います。

〈プログラム〉

第Ⅰ部

開会挨拶・趣旨説明 倉田敬子（国立国会図書館長）

基調講演「すべての人のための図書館 —米国議会図書館の戦略計画2024-2028—」（仮題）
J・マーク・スウィーニー氏（米国議会図書館首席副館長）

（休憩）

第Ⅱ部

パネルディスカッション ファシリテーター 只野雅人氏（一橋大学大学院法学研究科教授）
パネリスト 喜連川優氏（情報・システム研究機構機構長、東京大学特別教授）
溝上智恵子氏（国士館大学特任教授、筑波大学名誉教授）
J・マーク・スウィーニー氏（米国議会図書館首席副館長）
山地康志（国立国会図書館副館長）

閉会挨拶 木藤淳子（国立国会図書館総務部長）

〈アクセス〉

東京都千代田区永田町1-10-1

○東京メトロ

- ① 有楽町線「永田町駅」2番出口徒歩約5分
- ② 半蔵門線・南北線「永田町駅」3番出口徒歩約8分
- ③ 千代田線・丸の内線「国会議事堂前駅」1番出口徒歩約12分

○都営バス

- ④ 橋63系統「国会議事堂前」徒歩約5分

〈問合せ先〉

国立国会図書館 総務部企画課企画係

TEL:03-3581-2331（代表） E-mail:lecture@ndl.go.jp

